

問 農業の6次産業化への取り組みは

村上克朗議員



答 商品開発などソフト面の充実が重要

Q 昨年3月定例会での質問に対する町長答弁における、農・工・商連携による6次産業化へのその後の取り組みは、町長

Q オートマト・ニューピーオーネなど価格が安い時期、格落ち商品がピュール(半液体状)に加工し、急速冷凍機で高付加価値商品を作る。この冷凍ピュール自体を加工業者へ販売する、また本町でワインやジュースに加工することを提案する。町長

Q アンケート調査結果によると「隠れたいじめ」はないのか。町長

Q いじめが潜んでいるのか、日記や行動の変化に注意を払う。町長



最盛期のぶどう出荷(豊松地区)

問 合併後の取り組みの総括は

木野山孝志議員



答 危機感が活性化につながった

Q 合併後の取組みの総括と本年度予算の見通しは。町長

Q 合併すれば地域の総合力が上がると思ったがプラスにならなかった。町長

Q 今後の県立油木高校の存続と町立病院のあり方は。町長

Q 小学校の「学力」と、小中学校ともに「活用力」に課題がある。町長



授業風景(三和小学校5年生)

把握した課題は学校と教育委員会が連携して検証し解決にあたる。

問 改正森林法の影響は

丸山達夫議員



答 適正運用で整備は進む



神石高原輝きの森

Q 森林法の改正で、届出義務などが厳しくなった。町長

Q 森林整備計画の見直し作業は。町長

Q 個人でも可能だが、経費もかかり、森林組合などで行う事もできる。町長

問 インフラ(社会資本)の長寿命化推進を

寄定秀幸議員



答 緊急度を考慮し計画的に順次進める

Q 防災力の強化は、自助・共助・公助が重要であるが、公助の基盤である道路や橋などの社会資本の老朽化が進み、防災力の低下が心配される。町長

Q 学校、医療機関、福祉施設などの耐震化や防災・減災対策は。町長

Q 二次被害を防ぐための学校施設の天井や照明器具、設備機器、窓ガラスなどの非構造部材の耐震化への取り組みは。町長



路盤改良工事が完成した橋(三和・大矢)

Q 非構造部材の調査をし、対応に努める。町長